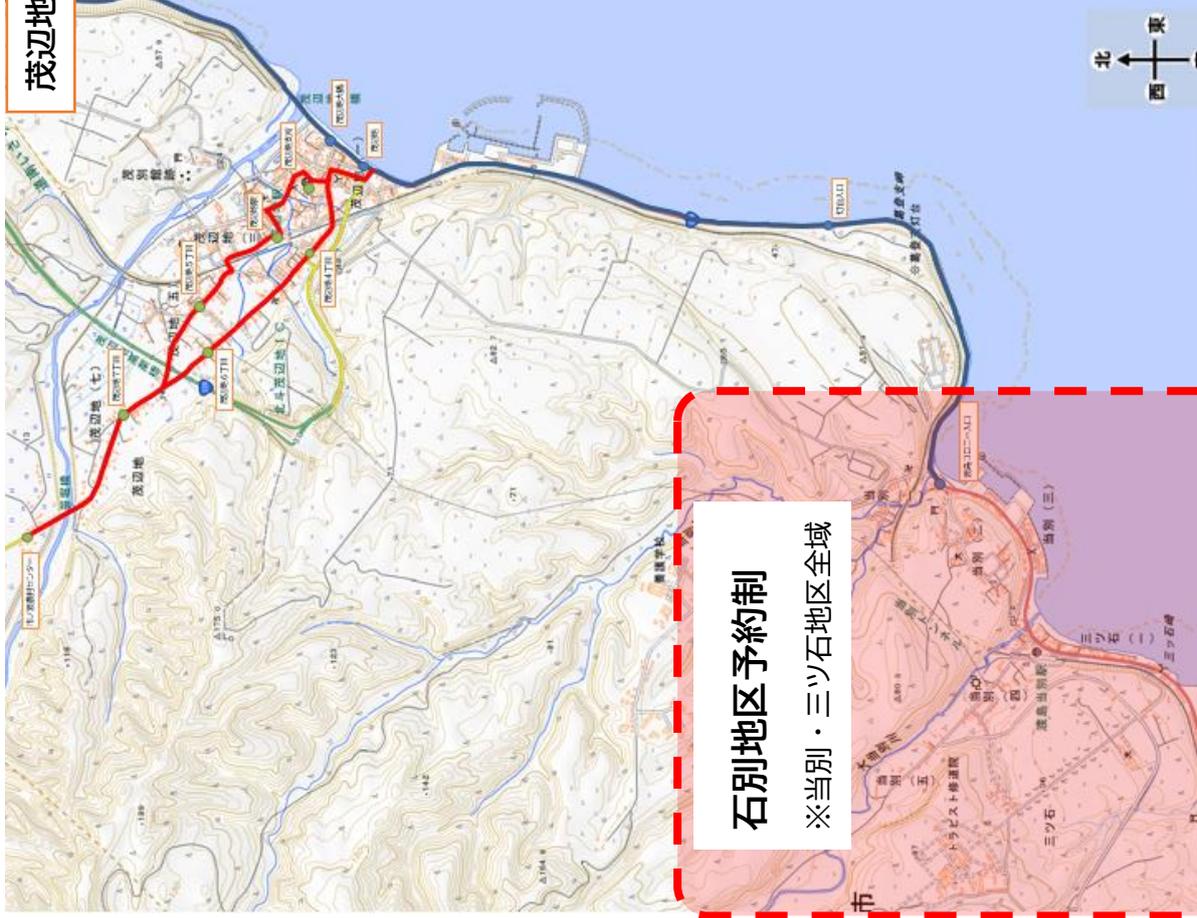
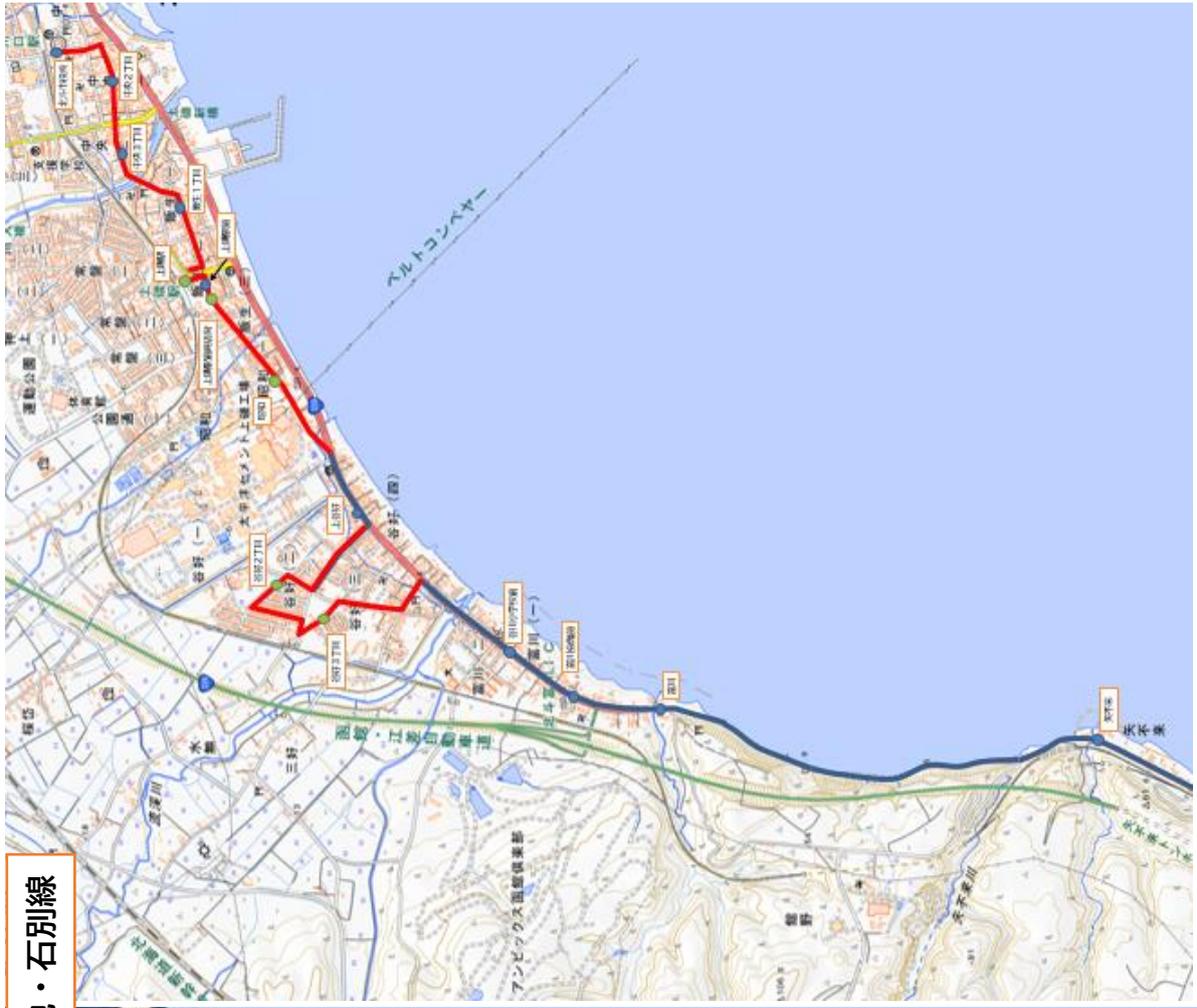


## 巡回ワゴン利用促進の取組等について



茂辺地・石別線

石別地区予約制  
 ※当別・三ツ石地区全域

## 1 茂辺地・石別線

### (1) 令和3年10月～令和4年9月運行

#### ○路線の考え方

- ・既存交通との競合に配慮し、交通不便地である石別地区、茂辺地地区（市街地）の主に高齢者の方を富川会館経由で上磯駅前まで連れてくることで、買い物・通院といった日常生活の移動に対応。

#### ○実績・意見等

- ・利用者180人／運行回数192回（平均0.9人／回）
- ・目的地 スーパーとうかい（90%以上）、ポーバンパーク、西川歯科、海老沢医院、整骨院
- ・町内会等への対面でのPRが必要、モニター乗車やアンケート実施が必要。

### (2) 令和4年10月～令和5年9月運行

#### ○路線の考え方

- ・バス停まで遠いとの意見を踏まえ、より住宅地内での乗降がしやすいよう、高齢人口が市内上位の「谷好地区」を路線に追加。

#### ○実績・意見等

- ・利用者373人／運行回数192回（平均1.9人／回）
- ・路線に追加した「谷好地区」での利用者なし
- ・一部地域は、MaaSのような発想でオンデマンド型の予約サービスにシフトしていくことも必要。
- ・階段に不便されている足の悪い高齢者の方がいる。
- ・市街地以外にフリー乗降区間を設定できないか。

### (3) 令和5年10月～令和6年9月運行

#### ○路線の考え方

- ・道南いさりび鉄道への乗り継ぎ利便性向上、市役所やかなで～る、図書館といった目的地となる公共施設へのアクセスのため、茂辺地・石別線の終点を北斗市役所まで延長。
- ・乗り降りしやすく、より利用しやすい路線となるよう国道等を除いて路線をフリー乗降区間に設定。
- ・住居が点在する三ツ石・当別地区において区域運行（予約制）を実施。
- ・18系統運行時間帯（13時～16時）に運行する巡回ワゴン茂辺地・石別線を増便。

#### ○実績（5月末時点）

- ・利用者281人／運行回数252回（平均1.1人／回）
  - 午前 石別地区予約制 利用者 56人／運行回数126回（平均0.4人／回）
  - 茂辺地・石別線 利用者193人／運行回数126回（平均1.5人／回）
  - 午後 石別地区予約制 利用者 2人／運行回数126回（平均0.0人／回）
  - 茂辺地・石別線 利用者 30人／運行回数126回（平均0.2人／回）
- ・石別地区予約制 乗降 58人（前年 57人 5月末時点比較）
- ・「北斗市役所」利用者 乗車6人 降車13人
- ・午後便利用者 全員従前の巡回ワゴン利用者
- ・「上磯駅前商店街」乗降実績 降車67%（86人/128人） 乗車90%（138人/153人）
  - 往路 128人全員が茂辺地・石別・矢不來からの乗車
  - 復路 153人の内2人（「上谷好」1人、「谷好2丁目」1人）以外は茂辺地・石別地区での降車
- ・フリー乗降での利用者なし

## 見直しの方向性

- 午後便の清川口駅での接続を改善する運行時間に変更。



## 2 上磯線

### (1) 令和3年10月～令和4年9月運行

#### ○路線の考え方

- ・既存交通との競合に配慮し、交通不便地である三好・水無・桜岱・押上・大工川地区の主に高齢者の方を上磯駅前に連れてくることで、買い物・通院といった日常生活の移動に対応。

#### ○実績等

- ・利用者13人／運行回数192回（平均0.1人／回）
- ・目的地 スーパーとうかい、セブンイレブン
- ・曜日での利用の差は少ない 月曜3人、木曜10人、片道利用9人（全体の69%）

#### ○意見等

- ・町内会等への対面でのPRが必要、モニター乗車やアンケート実施が必要
- ・久根別地区まで行きたい、路線が複雑、バス停まで遠い

### (2) 令和4年10月～令和5年9月運行

#### ○路線の考え方

- ・バス停まで遠いとの意見を踏まえ、高齢化率が市内上位の交通不便地で一定の人口を有する「添山地区」を路線に追加。

#### ○実績

- ・利用者54人／運行回数192回（平均0.3人／回）
- ・路線に追加した「添山地区」での利用者 「高規格道路下」からの乗車4人

#### ○意見等

- ・「とうかいに1時間もいることは難しい」（戸別訪問）
- ・路線の分割について、どこを走っていて、どれに乗ればどこに行くのか、ということがわからないと乗れない。路線は、まずは簡単なところで設定して、あまり複雑な路線にしないというのが一番かと思う。
- ・「バス停まで遠い」「バス停がない」「乗り場まで行けない」（老連アンケート）
- ・市街地以外にフリー乗降区間を設定できないか。

### (3) 令和5年10月～令和6年9月運行

#### ○路線の考え方

- ・複雑となっていた上磯線を2路線に分割。
- ・より利用しやすい路線となるよう国道等を除いて路線をフリー乗降区間に設定。

#### ○実績（5月末時点）

- ・上磯線① 利用者28人／運行回数126回（平均0.2人／回） 全員（28人）片道利用
- ・「北斗市役所」での降車実績 降車71%（20人/28人）
- 「押上」から「北斗市役所」までの片道利用者（1人） 函館バス乗り継ぎ（通院）
- ・「大工川会館」からの片道利用者（1人） 帰りはタクシー利用
- ・上磯線② 利用者21人／運行回数126回（平均0.2人／回）
- ・1人（「添山」での降車）を除き片道利用（20人）
- ・「添山」から乗車の1人がフリー乗降での利用

## 見直しの方向性

- 目的地での滞在時間や乗り継ぎ時間を改善するため、上磯線の運行内容を見直す。



### 3 大野線

#### (1) 令和3年10月～令和4年9月運行

##### ○路線の考え方

- ・既存交通との競合に配慮し、交通不便地である稲里・白川・細入・喜連地区の主に高齢者の方を総合分庁舎周辺、せせらぎ温泉に連れてくることで、買い物・通院・温泉利用といった日常生活の移動に対応。

##### ○実績等

- ・利用者237人／運行回数396回（平均0.6人／回）うち206人（86.9%）が1週目の利用
- ・目的地 せせらぎ温泉（90%以上）、増田クリニック、農協
- ・曜日での利用の差は少ない 月曜113人、木曜124人
- ・片道利用39人（全体の16%）

##### ○意見等

- ・町内会等への対面でのPRが必要、モニター乗車やアンケート実施が必要
- ・久根別地区まで行きたい、バス停まで遠い。

#### (2) 令和4年10月～令和5年9月運行

##### ○路線の考え方

- ・バス停まで遠いとの意見を踏まえ、より住宅地内での乗降がしやすいよう、高齢人口が市内上位の「本町地区」「向野地区」を路線に追加。

##### ○実績

- ・利用者242人／運行回数396回（平均0.6人／回）うち210人（86.8%）が1週目の利用
- ・路線に追加した「本町地区」での利用者なし
- ・路線に追加した「向野地区」での利用者 「向野2丁目」からの乗車15人・降車5人

##### ○意見等

- ・路線の分割について、どこを走っていて、どれに乗ればどこに行くのか、ということがわからないと乗れない。路線は、まずは簡単ところで設定して、あまり複雑な路線にしないというのが一番かと思う。
- ・「バス停まで遠い」「バス停がない」「乗り場まで行けない」（老連アンケート）
- ・市街地以外にフリー乗降区間を設定できないか。

#### (3) 令和5年10月～令和6年9月運行

##### ○路線の考え方

- ・地域住民のニーズがあり、主な目的地となっている「せせらぎ温泉」にアクセスしやすいよう大野線を分割。
- ・乗り降りしやすく、より利用しやすい路線となるよう国道等を除いて路線をフリー乗降区間に設定。

##### ○実績（5月末時点）

- ・大野線① 利用者215人／運行回数132回（平均1.6人／回）
- ・「白川第一会館」から「せせらぎ温泉」までの定期利用者（1人）の利用が約60%
- ・「総合分庁舎」から「せせらぎ温泉」までの定期利用者（1人）新規の利用が約30%
- ・大野線② 利用者2人／運行回数132回（平均0.0人／回）
- ・「総合分庁舎前」から「市渡北」まで利用（2人）
- ・大野線③ 利用者34人／運行回数132回（平均0.3人／回）
- ・「開発公民館」から「総合分庁舎前」までの定期利用者（1名）新規・フリー乗降で利用

#### 見直しの方向性

- 買い物の際にせせらぎ温泉内で使用可能な割引券等を配布し、せせらぎ温泉までの移動を促す取組を実施。

#### 全路線共通で取り組む事項

- 具体的な行き先、乗車時間、乗降場所、乗り継ぎ情報等を掲載したオーダーメイドの時刻表カードを作成。清川口駅での乗り継ぎ利便性（券売機設置、跨線橋がないこと）をPR。
- モニター乗車、サポート乗車を複数回実施。実際に乗り継ぎ利用を体験。
- 高齢免許返納者への戸別訪問や町内会、民生委員への周知を継続実施。